

24 時間マラソン・今出川Y学園祭に参加して
 10月30～31日(土・日) 京都御所 & 今出川 YMCA
 Yサ委員長 岩本 敬子

10/30 13時。24時間マラソンスタート。開始と共に雨模様。この日は、ずーっと雨降りだった。打ち合わせの時から今回ウィズは24時間張り付く約束はしていなかったが、夜中まであるメンバーは大雨の中待機してくれた。まじめである。その甲斐あってか、翌日は、晴れてくれた。朝早くからメンバーが、本部待機。多くのメンバーの交代で、13時無事終わった。マラソン？歩き？参加者は100円を寄付して御所1周約4KMを、完走してくれました。アメリモマケズ皆さんご苦労様でした。来年は違うクラブにバトンしても良いのでは？マラソンの収益は42,100円あったとの報告を頂きました。

31日は、学園祭にも参加して、メネットさんにみたらし団子のお手伝いをして頂きました。大きめのみたらしは、早くから完売となり、ホットしました。私自身身が入ったのは、介護の先生によるクラフト遊びだろうか？ポストカードと紐によるワンチャンを作って帰った。来年も楽しい企画をお願いしたい。

学生との交流が思っていたよりできなかった。学生さんの名前がよくわからないので名札のようなものがあれば、名前ですべてコミュニケーションもと取り易いかな、と感じた。



平安徳義会バザーに参加して
 11月3日(祝) 平安徳義会
 地域奉仕委員長 松本 忠正

11月3日(祝)平安徳義会の駐車場に於いて、恒例のバザーが催されました。8時半の集合で、出席者全員バザーの品を持ち寄り、女性は例年の事とはいえ手際良く値付けをしたり、段取り良く陳列をし、男性は150食分のお好み焼きの準備をして来客に備えました。

9時からは福祉講演があり、臨床心理士の立場から「子育て、子育て」と題して河崎佳子先生のお話がありました。自分の思い通りにならない事に耐える力、過保護、過干渉、追いかけてすぎず、突き放さず等々、1.5歳～2歳ぐらいの子育てが一番難しいなど、専門家としてのお話をお聞きし、終わると同時に本番のバザーの始まりです。

行事を楽しみにして毎年来て下さるご近所の方、通りがかりに立ち寄って来られた方、又、高山さんの元気な呼び込みの声などで賑わい、事故も無く楽しい内に3時頃に終わりました。

参加者：高山・大野・野田・立山・松本・牧野・桂・中原・大西・河合・中原君・野田君・野田君・森田君・立山君・ゲスト星野さん



ウィズデー・環境フォーラム報告
 11月7日(日) 新風館
 環境委員長 島田 博司

11月7日に新風館にて環境フォーラムが開催されました。ウエストでは環境フォーラムPT委員会を立ち上げ、3回の委員会での話し合いと前日の準備を経て当日に至りました。

ウエストのブースでは、菜の花プロジェクトとして、バイオカーターの展示と燃料としての菜の花油の説明がパネル展示にて、人力ポンプ車の展示と実際にポンプを体験してもらうコーナーを作り、お越しいただいた方に体験していただきました。地球温暖化問題を判っていただく為に、京(みやこ)エコロジーセンターよりお借りした地球温暖化パネルの展示、そして我ウエストクラブが力を入れている、車におけるCO2排出状況のアピールとして、車を動かすとどれだけの二酸化炭素が排出されるのかを判っていただく為に、その排出量を2ペットボトルに置き換え、実際に2ペットボトルを118本用意し展示しました。そしてウエストクラブでの環境問題についての取り組みや、今後の取り組みをパネルにて説明しました。他のクラブでは、電池の製作コーナー、ピオトープコーナー、昔懐かしい電気を使わなくても使用できた蓄音器などを紹介する音の歴史コーナー、子供たちがエコを題材に書いた絵画コーナーなどが各クラブ工夫された展示が行なわれました。

ステージでは、一部として、東海大学 佐々木政子教授による「太陽のメリット・デメリット」の講演が、二部として環境省大臣官房室製作審議官 小林光氏による「省エネルギー住宅の暮らし方」の講演がラジオDJで人気のよしみなおみさんの司会の下行なわれました。不慣れた環境委員長の下、立山会長はもとより、PT委員の皆様、当日国際協力募金の後で駆けつけていただいたメンバー、メネット、コメントの

皆さん、本当にありがとうございました。自分的には、ああすればよかった、こうすればよかったと反省することは多々ありましたが、何とか短い準備期間で無事終わってよかったと最後の挨拶時に立山会長からの言っていたいた言葉に救われました。始めて環境問題に取り組んだフォーラムで次の課題がたくさん見えたと思います。環境問題ずつつけて行きましょう。「継続こそ力なり」

参加者：メン 17 名、妹 4 名、コメ 3 名

バイオカート



人力ポンプ



CO2 排出状況アピール



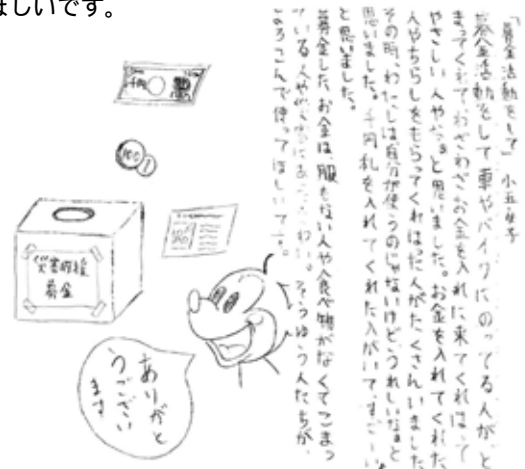
ワイズデー・国際協力街頭募金に参加して
 11月7日(日) 烏丸今出川・烏丸丸太町
平安徳義会の子供たち

11月7日(日)ワイズデー・国際協力街頭募金に参加して下さった平安徳義会の子供たちから感想文を頂戴しました。

「募金活動をして」 平安徳義会 小5・女子

募金活動をして、車やバイクにのってる人が、とまってくれて、わざわざお金を入れに来てくれるのはやさしい人やなあと思いました。お金を入れてくれた人やちらしをもらってくれた人がたくさんいました。その時、わたしは、自分が使うのじゃないけど、うれしいなあと思いました。千円札を入れてくれた人がいて、すごーい!と思いました。

募金したお金は、服もない人や食べ物なくてこまっている人や災害にあってこわい。そういう人たちが、よろこんで使ってほしいです。



「募金をしてみて」 平安徳義会 小6・女子

初めて募金をして、いっぱいの方が千円など、100円などいっぱい入れてくれたので、入れられてすっごくうれしかったです。紙くばりもいっぱい受けとってくれました。うれしくて、すごーく大きな声で言いました。そしたらおおくの人が走ってまでも入れてくれました。「ありがとうございます。」と大きな声でお礼をしました。ずうっと立ち続けたら、やっぱりつかれるな、とぼ金をやっていた人のつらさか思いうかんでがんばりました。うれしい気持ちもあって、しんげんにやりました。小さい子も入れてくれたのでうれしかったです。何回も言い続けたらちよっぴりまちがっちゃったので笑ってしまいました。そして、入れてもらうたびにちょっとでもいっぱい募金を入れてもらって使ってもらいたい。と心の中で思いながら言いました。バイクに乗ってる人からも、車からわざわざ降りてでも、もらいました。そのことは、一番うれしいと思います。私は、頭をさげました。そしたら、笑ってくれました。すっごくうれしかったです。





参加者：メン3名、メイト4名、コメイト3名

「かに食う会」に参加して
 11月13日(土) 浜村遊魚センター「魚見」
 Yサ委員 高山 納

11月13日午前8時20分総勢10名を乗せて「カニカニ日帰りエクスプレス号」出発！と思いきや中国道事故の為に「日帰り鈍行号」再出発！

R9号を5時間かけてひた走り「借金は借りたもん勝ち」「島倉千代子は何歳」全員博学話題沸騰300分喋りばなし疲れたころ、浜村遊魚センター「魚見」に到着、海岸に打ち寄せる波が花火のように舞い上がり我々を歓迎してくれました。2階の宴会場に入りますと先着全員から拍手喝采、鳥取ワイズメンズクラブ森本部長他29名が特選カニずくしほろ酔い気分でお出迎え、いやー素晴らしい来てよかった、テーブルの上はカニカニカニ、置く場所も無い喰らいカニずくし、うまい冷凍じゃないぞ！、向かいの海岸から捕りたてだ！会費1万円は安い3倍出しても高くない、死んでもいい(ちょとOVERかな)。森本部長より全員の自己紹介ウエスト9名はそれぞれ個性ある「若い発表」を行ないました。腹3杯になり、東京目黒クラブ(大阪在住)3名、京都洛中クラブ1名(大野様レンタカーの運転ご苦労様でした)、呉クラブ11名、姫路クラブ4名、姫路グローバル2名、岡山クラブ1名、高松さぬきクラブ2名、鳥取クラブ7名、総勢30名とお別れして森本部長の先導で一路浜村温泉へ「いーいー湯だな」湯冷めをしないように早々に身支度して帰路へ、鳥取クラブの森本部長に感謝しながら真っ暗な道を京都へ「来年はウエスト全員で参加しようね！」を合言葉に車内のバックグラウンドミュージックを聞きながら睡眠、全員事故も無く京都駅に着きました。

参加者：立山・胡内・胡内メイト・桂・藤居・牧野・安平・大西・高山 各ワイズ・洛中クラブ大野様

11月役員会例会報告
 11月11日(木) 今出川YMCA
 書記 山下 太郎

11月11日7:30~より今出川YMCAにて20名の参加でオープン役員会が開催されました。

まず各担当ワイズより委員会、あそび会、ポテトファンド、その他ファンド商品の開発、創刊300号を迎えるブリテンについて等の報告がなされました。また今回の洪水による災害ボランティアに関して立山会長からウエストとして今後どう対処するか等意見が述べられました。

続いてリトセンオータムフェスタ、スペシャルオリンピックストーチャラン、クリスマス例会、合同新年会についての協議が行われメンバーからいろんな意見が出され開催に向けて準備が進んでいくことと思います。

議案については10月例会ニコニコを義援金として拠出、オータムフェスタの援助金の額などすべて承認されました！全ての案件の協議、審議を終え定刻の9時30分に閉会となりました・・・ご苦労様でした！！

出席者：メン20名

11月 役員会報告		
議案1	10月例会ニコニコを水害・地震被災地支援金として拠出する。 20,000円	承認
議案2	11月14日オータムフェスタの援助をする。 徳義会 2,000円 メンバー 1,000円 ゲスト・メイト 1,000円	承認



リトセンオータムフェスタ報告
 11月14日(日) YMCAリトリートセンター
 ドライバー委員 市橋清太郎

天気予報では直前まで「雨時々曇り」とまたもやいやな予感でしたが、うれしい事に当日は晴れとはいかないまでもなんとか屋外ですべてのイベントが行われました。我がウエストクラブの豚汁をはじめ各クラブの屋台が所狭しとならび、すべて食べて回ればお腹いっぱいになったことは間違いなしでしょう。中央の舞台ではインド舞踊や有志によるバンド、紙芝居など子供から大人まで楽しめる催しが繰り広げられました。私もですが、ファミリーでの参加が多く、たくさんの子供たちが来ていました。YMCAのリーダー達のゲーム大会も盛り上がっていたみたいです。しかしリトセンはいつもジメジメしていませんか？ソーラーは無理？





参加者：メン9名・メット4名・コメット3名・ゲスト1名

スペシャルオリンピックス・トーチラン報告

11月14日(日) 烏丸夷川・二条
メネット会長 立山 益子

11月14日は、うす曇りの少し寒い朝でしたが、烏丸通りはスペシャルオリンピックスの旗が風にたなびいて、お祭りムードいっぱいでした。ウエストのメンバーは、烏丸通りの夷川と二条のそれぞれの交差点付近で沿道警備をしました。"警備"といっても、たいしたことはなくスペシャルオリンピックスのパンフレットを道行く人に配ったり、ランナーへの応援をお願いしました。御池通りのほうから、トーチを持ったランナーが走ってくると烏丸通りの信号はすべて"青"になり、ランナーが走っていく姿は感動的でした。その後、龍池小学校で野田和くんたちと合流し、御池通りをパレードしました。市役所前の閉会式で、スペシャルオリンピックスに出場する代表選手4名が舞台によばれました。野田和くんが、緊張して舞台上がっていく姿はりりしく見えました。来年2月に長野県で行われる世界大会がとても楽しみです。

沿道警備参加者：野々口ワズ、野々口メット、中原メット、立山ワズ、立山メット、応援：鈴木メット、森田メット



ワイズ・旅の支度 最終回 中瀬康平ワイズからの手紙



今期、前月号まで毎月にわたり、中瀬康平ワイズの原稿を掲載させて頂きました。病気療養中にもかかわらず、病室で病魔と闘いながら執筆して下さいました。そのユーモアと深い愛と示唆に富んだ貴重なお言葉の数々は、私達の今後の活動に大いに参考となるものでした。今月号の原稿についても、最後まで気にかけて

おられたのですが、誠に残念ながら、2004年11月28日、神様のもとに旅立たれました。

この手紙は、告別式の際、参列者に配られたものです。中瀬ワイズのお気持ちが強く伝わってくる文章でしたので、哀悼の意をこめまして、謹んで掲載させて頂き、連載の最終回とさせていただきます。(ブリテン委員長 河合久美子)

本日はわざわざありがとうございました。

2003年11月に悪性リンパ腫をわずらって以来
お得意様・お取引各社の皆様・友人・親戚
そして家族に見守られて
実に楽しい闘病生活を過ごすことができました
皆様に感謝いたします

五体満足な時には、前を見て走り続けることこそ
現実だと思っておりました

でもよく考えてみると
見えていること、触っていることだけが真実なのか
よく判らなくなってしまいます

ほとんどの人には目が二つしかありませんから
実は点と点をつないだ一次現の世界しか
見えていないんです

物の厚みとか丸みとか遠くにある山の高さなどは
斜めで見たり手で触れたりあるいは知識として
得たものなのです

言い換えれば個人個人の頭の中で作り上げた
バーチャルな世界を寄せ合って生きているわけです

実際には

皆様がこの拙文をお読みになる時点では
僕の体は機能しなくなり
握手は出来ませんが

こうやってお別れのご挨拶は出来るわけです
まさにバーチャルであり現実でもあるわけです

それではあらためて
皆様に心よりの感謝を申し上げます

またお会いしましょう
さようなら 中瀬 康平(享年53歳)
2004年12月1日

京都ウエストワイズメンズクラブ 中瀬康平ワイズが
11月28日(日)ご逝去されました(享年53歳)
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。